

2017年度 公益社団法人 鎌倉青年会議所 まちづくり委員会

- 担当副理事長名：樋渡 悠浩
- 委員長名：今村 広太郎
- 副委員長名：松永 充広
- 委員名：大森 啓田、斉藤 正朗、田中 健雄、藤田 憲一郎
- 作成者名：今村 広太郎

1. 委員会活動方針

近年の情報通信技術の発展を始めとするテクノロジーの急速な進化は、個人の欲求を素早く満たす反面で、人と人が直接交流する機会を減らし、互いの関心が希薄になったことを一因とするまちの様々な問題を引き起こしています。人々の繋がりが脆弱になる事で、自分本位の利己的な思想を蔓延させ、更にまちの諸問題は深刻化する事が懸念されます。人と人の間に起因するまちの諸問題を解決に導き、明るい未来を感じる事の出来るまちを創出する為には、まちとの繋がりを強く感じつつ、人と人が相互に理解を深めて他者を思いやる事で互助の精神を育て絆を広げ、まちと人の繋がりも取り戻すきっかけとなる事業が必要であると考えます。

そこで本年度まちづくり委員会では、まちの人々の絆を結ぶ為の接点となる場を設え、まちとの繋がりを感じ、互いに相手を思いやる気持ち、敬う気持ちから発展した互助の精神を広げていく為の事業を展開致します。まずは、まちの人々がこのまちのシンボルとも言える場所においてまちとの繋がりを強く感じながら、この国に受け継がれてきた伝統的な文化の一つである茶道を通じ、人々が相互の理解と関心を深め、更に互助の精神へと発展させる為に第49回慈善茶会を開催致します。あわせて、来年には50周年の大きな節目を迎える本事業のこれまでの足跡を今一度辿り、ご来場頂く人々に発信する場と致します。その後は慈善茶会にご協力頂きました関係諸団体の皆様に謝意をお伝えし、更なる信頼関係を結び、絆を広げる事を目的として慈善茶会後の懇親会を開催致します。最後に、未来を担う市民と、まちが繋がる為の接点を設え、世代間のコミュニケーションを深めながら、まちに対する未来への希望と更なる愛着を抱き、将来このまちで活躍の場を広げる事と、明るい未来を感じられるきっかけとなる事業を開催致します。

これらの事業を本年度テーマである「絆をつなぐ」の精神で推し進める事により、このまちで暮らす人々が相互の理解から発展した互助の精神を育むきっかけとなり、人の事、まちの事に関心を深める事と、このまちの未来を担う市民がまちの人々と交流を図り、繋がりにから生まれた明るい未来を感じる事で、人と人の間に起因する様々なまちの問題の解決の糸口となり、ひいては「明るい豊かな社会の実現」に向けた活動の一助になる事と確信致します。

2. 委員会事業計画

(I) まちの人々の相互の理解から、互助の精神へと発展させる為の事業

(a) 内容：第49回慈善茶会の開催

(b) 時期：2017年 5月

(c) 対象：会員を対象に40名程度並びに入会希望者、OB、来訪J.C、市民、学生、
協働団体関係者、茶道関係者

(d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(Ⅱ) 関係諸団体との信頼関係、絆を深める為の事業

- (a) 内 容：第49回慈善茶会後の懇親会の開催
- (b) 時 期：2017年 5月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度並びに入会希望者、OB、学生、協働団体関係者、
茶道関係者
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(Ⅲ) まちの未来を担う市民が繋がりから生まれる明るいまちを想像（創造）する為の事業

- (a) 内 容：市民参加の体験型事業の開催
- (b) 時 期：2017年 10月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度並びに入会希望者、学生、市民
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

3. 共通実施事項

- (a) 会員拡大の実施
- (b) 渉外事業への参画、参加